

東京学芸大学大学院
教育学研究科 修士課程

教育支援協働実践開発専攻

教育 AI 研究プログラム 概要説明



Gakugei

Pioneering spirit for education and wisdom

大学院教育学研究科の構造

専門職学位課程（教職大学院）（210人）

修士課程（109人）

次世代日本型教育システム研究開発専攻（20人）

教育支援協働実践開発専攻（89名）

教育AI研究プログラム（35人）

臨床心理学プログラム（20人）

教育協働研究プログラム（34人）

教育AI研究プログラムとは

教育支援協働実践開発専攻の目的

「教育の高度情報化（A Iサービスの活用等）」「教育における心理支援」「教育における連携・協働化」に対応し、**学校教育の内外での教育支援協働において先導的役割**を果たす人材の養成

教育AI研究プログラムの目的

学士課程で学んだ専門分野に関する基礎的知識と、技術の発展による社会の変化と教育の課題に関する基礎的な知識を基盤に、**高度情報化に対応した教育**を自らの手で研究開発し、**教育の分野でA Iサービスを利活用することで社会に貢献しようとする人材の養成**

修士課程のカリキュラムと履修基準

■ 養成目標に沿った体系的なカリキュラム

4つの科目群

| 科目群等 | 教育支援協働実践開発専攻 教育AI研究プログラム |
|-----------------|-----------------------------|
| 専攻基盤科目 | 6単位 |
| 専攻基礎科目 | 2単位 |
| 専攻展開科目 | 10単位以上 |
| 専攻発展科目（フィールド研究） | 8単位 |
| 特別研究（修了研究の指導） | 4単位 |
| 教育学研究科 他専攻の科目 | 0単位以上 |
| 合計 | 30単位以上 |

4つの科目群における開設科目を組み合わせ、
各学生の目標に沿った修学計画を指導教員の指導の下に作成する

教育AI研究プログラムのカリキュラム

教育支援協働学専攻共通

専攻基盤科目
(必修6単位)

教育支援協働学概論
先端型教育開発研究
チーム学校と多職種協働 (教職大学院科目)

教育AI研究プログラム

専攻基礎科目
(必修2単位)

人工知能概論

専攻展開科目
(選択10単位以上)

情報AI領域

教育の高度情報化や
情報ツールの活用能力
に関する知識や
技能の領域

コンピテンシー・ 学校心理領域

コンピテンシー育成と
次世代学校に関する
高度な知識や技能の領域

教育内容・実践 領域

教育の内容と実践に
関する高度な知識や
技能の領域

専攻発展科目
(必修8単位)

フィールド研究A・B

特別研究(4単位)

特別研究1・2 (修了研究の指導)

教育AI研究プログラムのカリキュラム

教育支援協働学専攻共通

専攻基盤科目
(必修6単位)

教育支援協働学概論
先端型教育開発研究
チーム学校と多職種協働 (教職大学院科目)

教育支援と
教育研究を
学ぶ

教育AI研究プログラム

専攻基礎科目
(必修2単位)

人工知能概論

AIについて
学ぶ

専攻展開科目
(選択10単位以上)

情報AI領域

教育の高度情報化や
情報ツールの活用能力
に関する知識や
技能の領域

コンピテンシー・ 学校心理領域

コンピテンシー育成と
次世代学校に関する
高度な知識や技能の領域

教育内容・実践 領域

教育の内容と実践に
関する高度な知識や
技能の領域

情報教育, 心理, 各種教育内容を専門性に応じて学ぶ

専攻発展科目
(必修8単位)

フィールド研究A・B

社会での実践力を高める

特別研究(4単位)

特別研究1・2 (修了研究の指導)

研究能力を高める

専攻展開科目（選択科目）

専攻展開科目は、**全10単位以上**を選択して修得する。
ただし、**各領域の授業科目を2単位以上修得すること**（修了要件）

情報AI領域

教育の高度情報化や
情報ツールの活用能力
に関する知識や技能の
領域

プログラミング基礎

機械学習・深層学習論

データ・アナリティクス
実践論

先端情報科学論

知的ソフトウェア
システム論

人間情報学論

情報センシング論

言語情報解析論

マルチメディア情報
解析論

コンピテンシー・ 学校心理領域

コンピテンシー育成,
次世代学校に関する高度な
知識や技能の領域

ヒューマン・コンピテンシー
総論

教育とビジネス

教育・行動データの測定と
分析

認知発達と学校教育

ヒューマン・コンピテンシー
各論(発達)(認知)(社会)

教育コミュニティ論

アントレプレナーシップ論

教育未来構想論

教育内容・実践 領域

教育の内容と実践に
関する高度な知識や
技能の領域

文化社会系先導的教育
応用実践論
(言語) (文化)

身体系先導的教育
応用実践論
(医学) (心理) (生理)
(バイオメカニクス)

環境システム系先導的教育
応用実践論
(大気環境) (地球科学)
(アート・デザイン)

教育ポートフォリオと
教育ビックデータ

専攻発展科目(フィールド研究)

専攻発展科目 (必修 8単位)

| | |
|----------|-----------------|
| フィールド研究A | 1年次秋期 (必修, 4単位) |
| フィールド研究B | 2年次春期 (必修, 4単位) |

- 院生が学外のフィールドで学習・研究を行うことにより、修了研究の一部となる活動を、社会の要請と重なるもの、社会貢献に結びつくものとして実践しようとする、「サービス・ラーニング」の考え方に基づく授業科目
- 院生の主導的な活動による、課題設定・意思決定・情報探索を指導教員・フィールドの関係者も加わったチームとして行い、教育と研究に関わる課題解決に取り組む、「プロジェクト・ベースド・ラーニング (PBL)」の授業科目
- カリキュラム上のコアとなる役割の科目
 - 修了要件となる30単位のうち約1/4を占める8単位が2科目分の「フィールド研究」として必修科目となっている

修了研究（修士論文）と育てたい人材

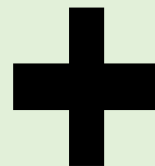
授業での学びと日々の研究指導

修了研究の実施（修士論文の執筆）

専門とする
学問分野



教育



AI（人工知能）
AI社会

育てたい人材

情報教育，教育心理学，各種教育内容（言語学，体育学，健康スポーツ科学，環境・地球科学，デザイン学など多様な専門科学），教育実践などから，教育に関する個別で高度な専門性を基盤として持ち，AI（人工知能）を教育の様々な場面で利活用し，学校や多様な専門家と協働しながら，教育改革を先導する新しい人材

教員紹介：情報AI領域

| 領域 | 教員名 | 専門分野 |
|--------------------|----------|--------------------------|
| 情報 A I 領域 | 樫山 淳雄 | ソフトウェア工学, CSCW |
| | 南葉 宗弘 | 知能情報学, 知的信号処理, 情報科学教育 |
| | 加藤 直樹 | HCI, ICT活用, 教育支援システム |
| | 宮寺 庸造 | 情報視覚化, プログラム言語処理系 |
| | 森本 康彦 | 教育工学, 情報教育 |
| | 遠藤 太一郎* | AI工学 |
| | 小宮山 利恵子* | AI, EdTEch,アントレプレナーシップ |

* : クロスアポイントメント教員 (主指導教員にはなれない)

教員紹介：コンピテンシー・学校心理領域

| 領域 | 教員名 | 専門分野 |
|--------------------|---------|--------------------------------------|
| 学校心理領域 コンピテンシー・ | 杉森 伸吉 | 社会的認知, リスク心理学, グループ・ダイナミックス, 実験社会心理学 |
| | 品田 瑞穂 | 社会心理学, 対人心理学 |
| | 犬塚 美輪 | 教育心理学, 言語理論 |
| | 関口 貴裕 | 認知心理学, 認知神経科学 |
| | 榊原 知美 | 発達心理学, 認知心理学 |
| | 太田 絵梨子* | 教育心理学 |

* : 授業のみ担当（主指導教員にはなれない）

教員紹介：教育内容・実践領域

| 領域 | | 教員名 | 専門分野 |
|-----------|----|-------|------------------------------------|
| 教育内容・実践領域 | 文化 | 木村 守 | 外国語教育（中国語），漢字情報処理（文献データベース），中国古典文学 |
| | | 白勢 彩子 | 日本語学，音声学 |
| | 身体 | 奥村 基生 | スポーツ心理学 |
| | | 齋藤 従道 | 代謝学，スポーツ医学 |
| | | 佐藤 耕平 | 運動生理学 |
| | | 新海 宏成 | スポーツバイオメカニクス |
| | 環境 | 土橋 一仁 | 地学，宇宙・地球科学 |
| | | 中野 幸夫 | 化学，環境科学 |
| | | 正木 賢一 | グラフィックデザイン |



Gakugei

Pioneering spirit for education and wisdom